

令和7年度 第2回学校評価アンケート集計結果について

12月に今年度第2回目の学校評価アンケートを実施しました。アンケートはほぼ同内容の項目に、生徒・保護者・教員の三者からアンケートを取り比較しています。また、7月に行った第1回学校評価アンケートからの推移をみられるように並べて表示し、コメントを添えています。

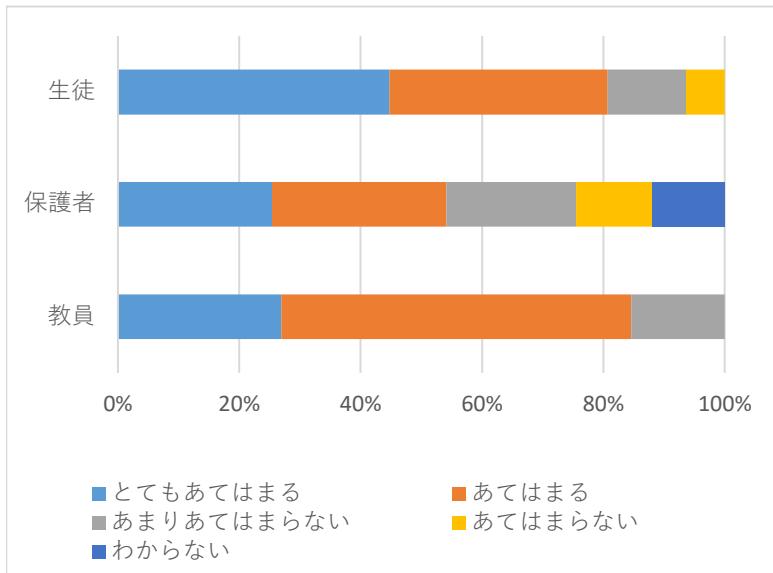
本集計結果の紙面は、①学校評価アンケート集計結果、②学校評価アンケートでの意見について、③授業評価アンケート集計結果、④授業評価アンケートでの意見について、という構成になっておりページ数は多くなっていますがご覧ください。

学校の教育活動についてのアンケートでは、即、改善に取り組む必要があること、根気強く継続して取り組み卒業までに成果が見られるものもあれば、卒業後数年たってから当時の先生が言っていたことに気づく内容もあります。いずれにしても、生徒の大好きな3年間がその後の人生に良い影響となるよう取り組んでまいります。

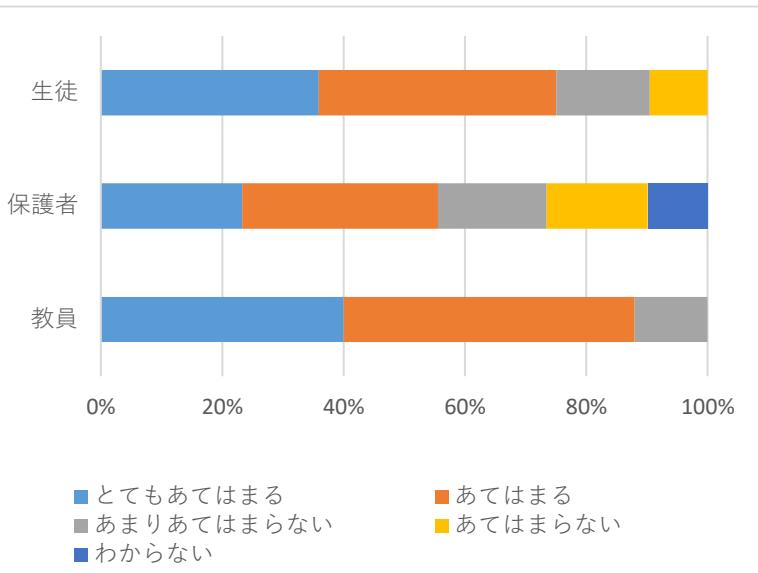
今年度のアンケートでは、1つの質問に、視点が2つ入っているなど回答しにくいものがありましたので、次年度に向け改善してまいります。保護者の皆様、地域の皆様には本校の教育活動について、引き続きご理解・ご支援・ご協力をいただきますようお願いいたします。また、お気づきの点などございましたら遠慮なく学校（03-3921-7101）までお知らせください。

○第1回（7月）集計結果

1 大西中生であることを肯定的にとらえている

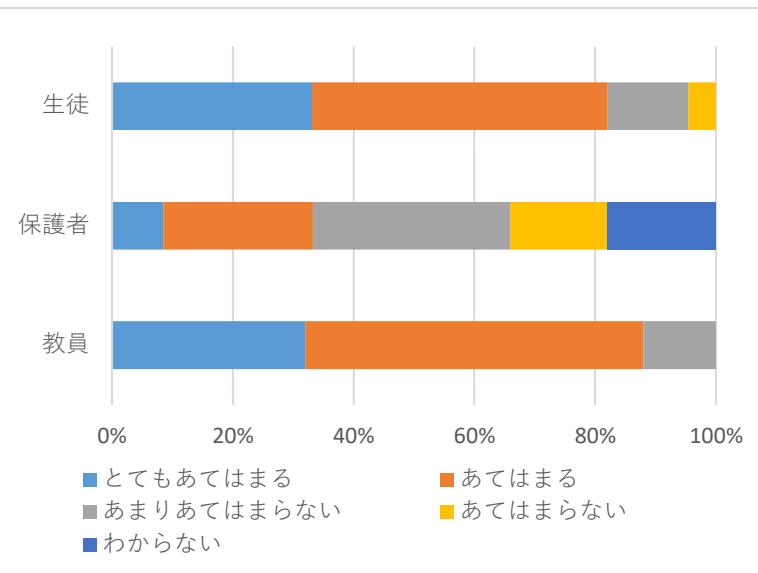
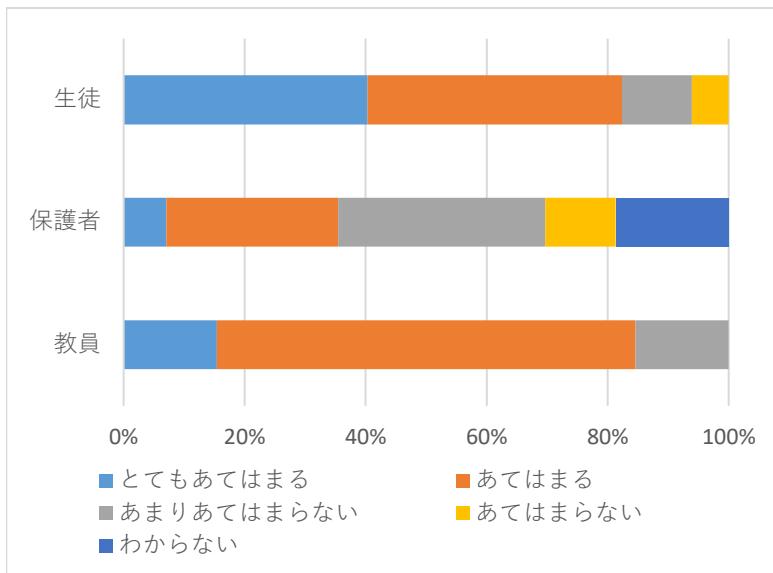


○第2回（12月）集計結果



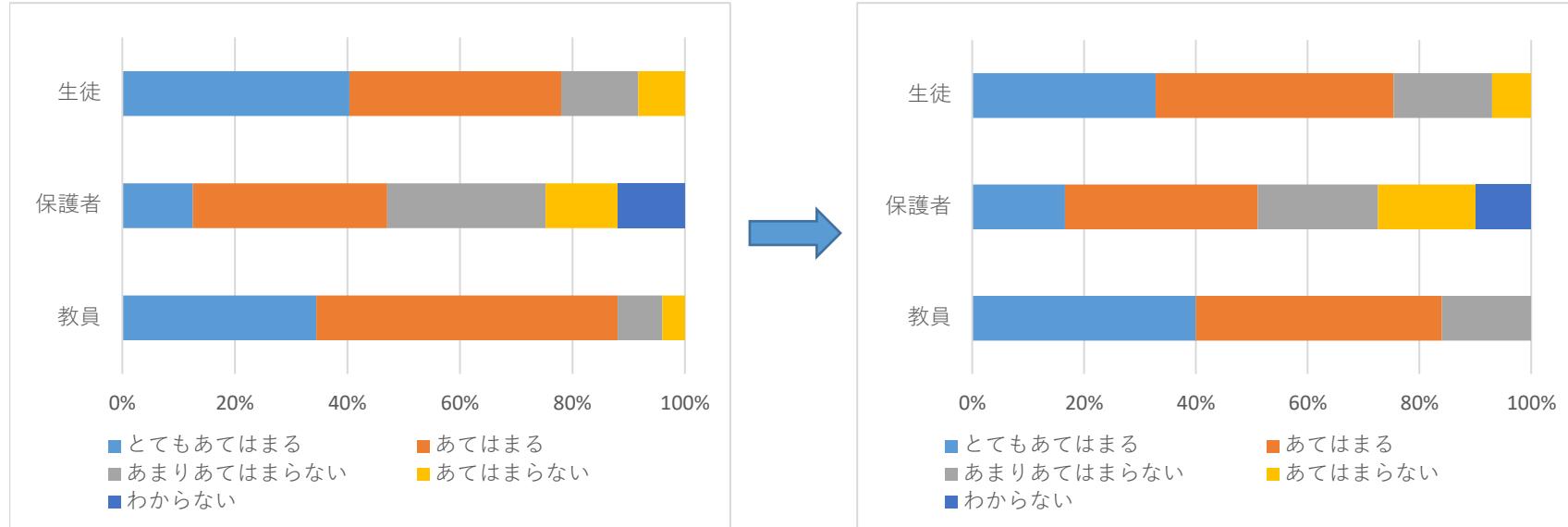
○ 全体的な傾向に変化はなく、生徒の意識と教職員の意識は近い。それぞれの思いを共有し保護者からも大西中に通わせてよかったですとの評価を得られるように取り組んでいきます。

2 ICT機器を活用し基礎学力の充実を図っている



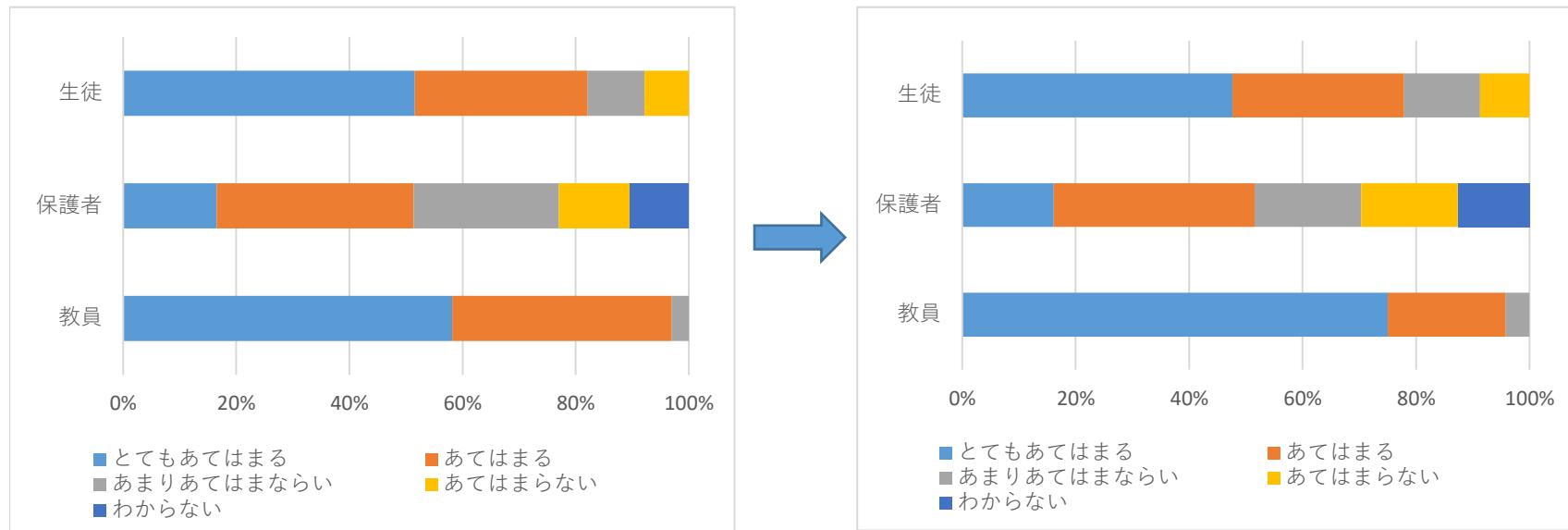
○ 全体的な傾向に変化はなく、生徒の意識と教職員の意識は近い。保護者には学校公開や学校からの情報発信で、学校の現状を理解したうえでの評価となるようにしていきます。。

3 良いところを認めたりほめたりしている



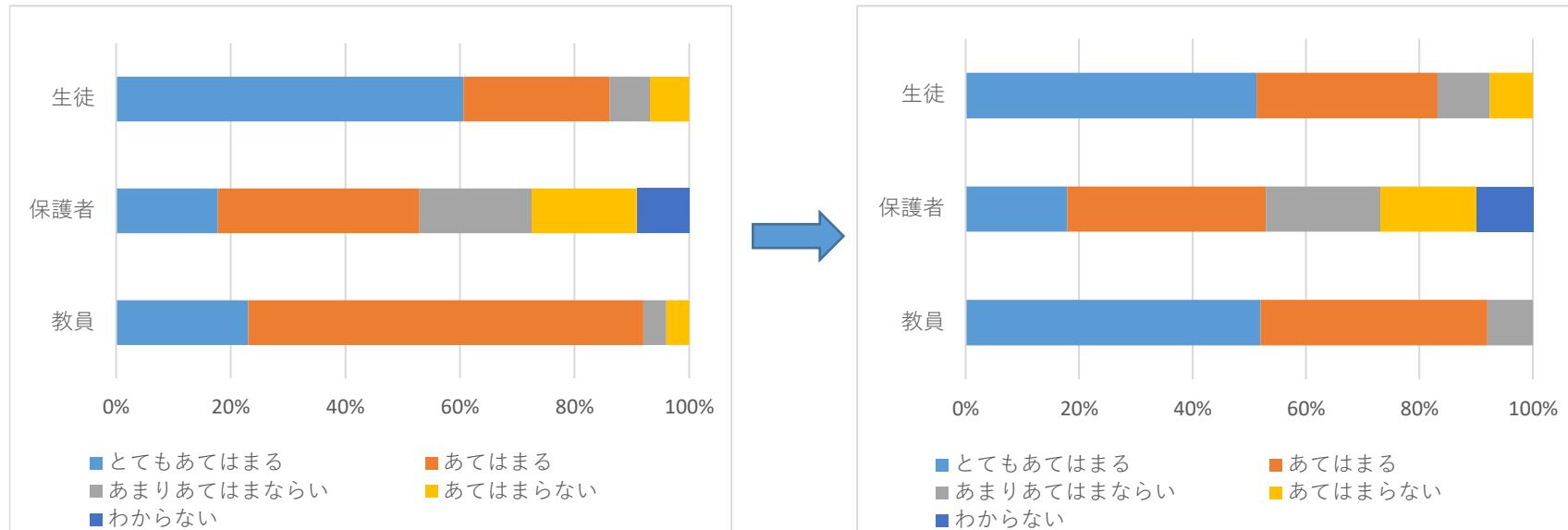
- 全体的な傾向に変化はなく、生徒の意識と教職員の意識は近い。保護者との連携をより密にして、学校の立場で生徒に働きかけること、保護者の立場で子供に働きかけることを共通理解し、生徒の成長に関わっていきます。

4 いじめを許さない指導を継続的にしている



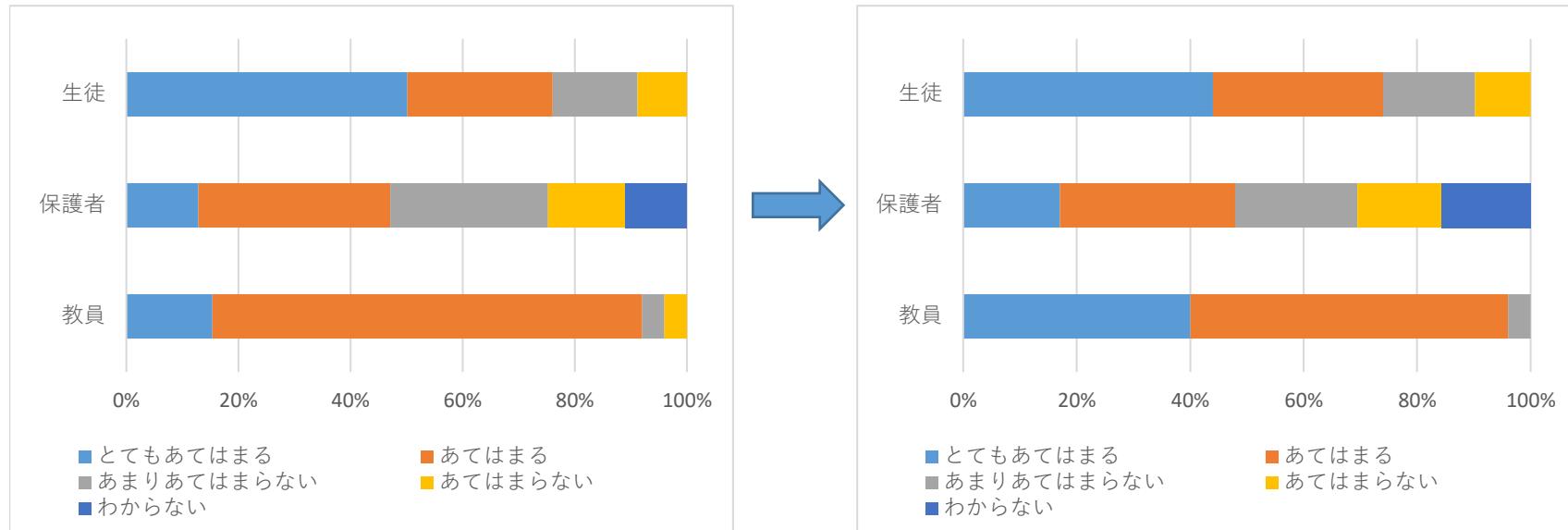
- 全体的な傾向に変化はなく、生徒の意識と教職員の意識は近い。保護者との連携をより密にして、生徒のサインを見逃さないように取り組みます。次年度は生徒に毎月生活アンケートを実施していきます。

5 学校生活は落ち着いてできている



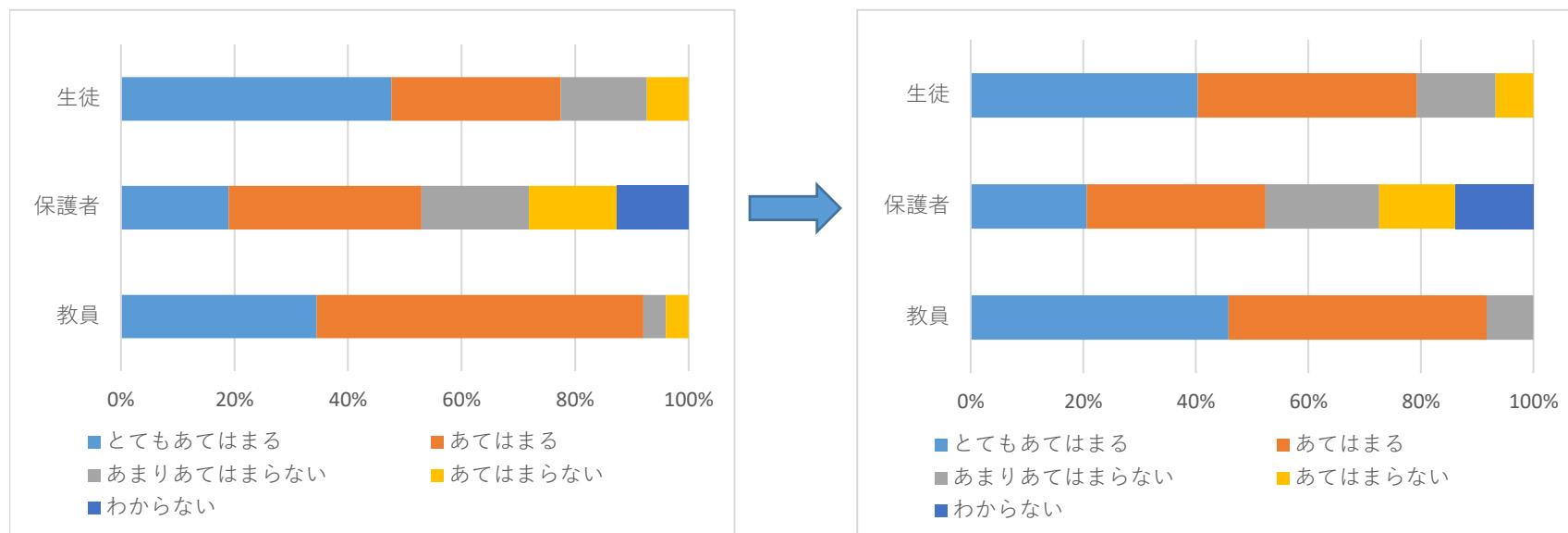
- 全体的な傾向に変化はなく、生徒の意識と教職員の意識は近い。保護者としては子どもの安全ため、気になる情報など心配は尽きないと思いますが、学校公開日等に実際の学校の様子を見て評価していただければと思います。

6 健康の保持増進、体力向上に取り組んでいる



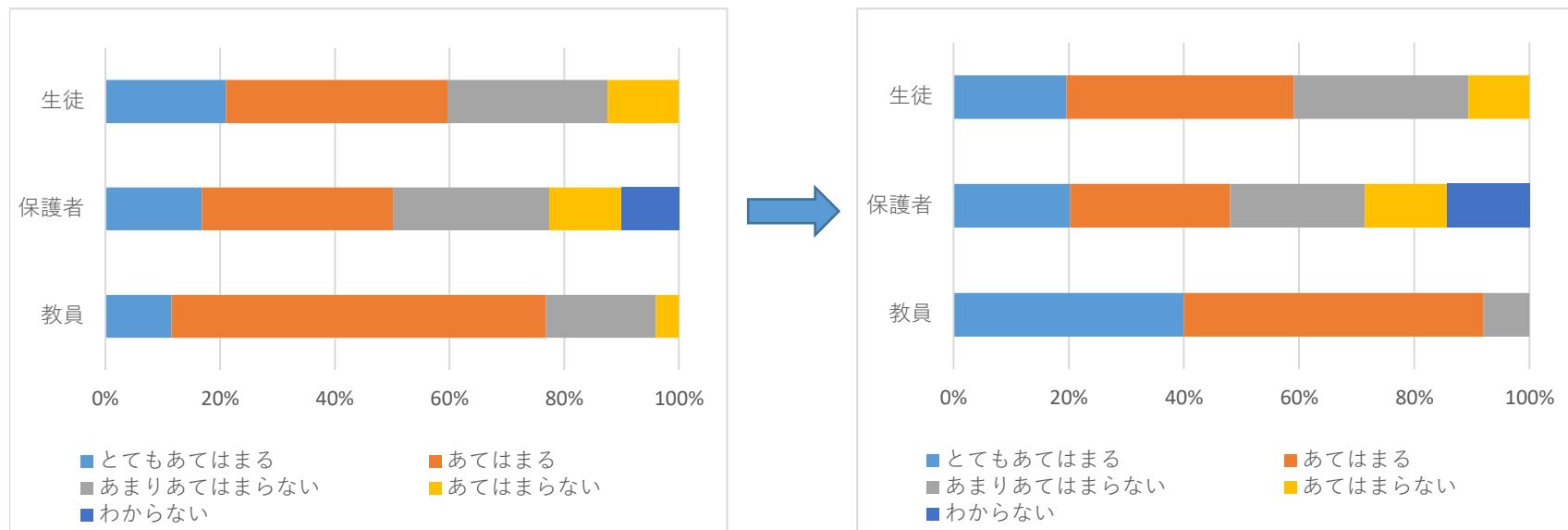
- 全体的な傾向に変化はなく、生徒の意識と教職員の意識は近い。健康の指標である栄養・運動・休養は保護者の協力なしには良い習慣と結び付けることはできないため、今後も情報交換・情報共有を進めていきます。

7 生徒の主体性を引きだす取り組みをしている



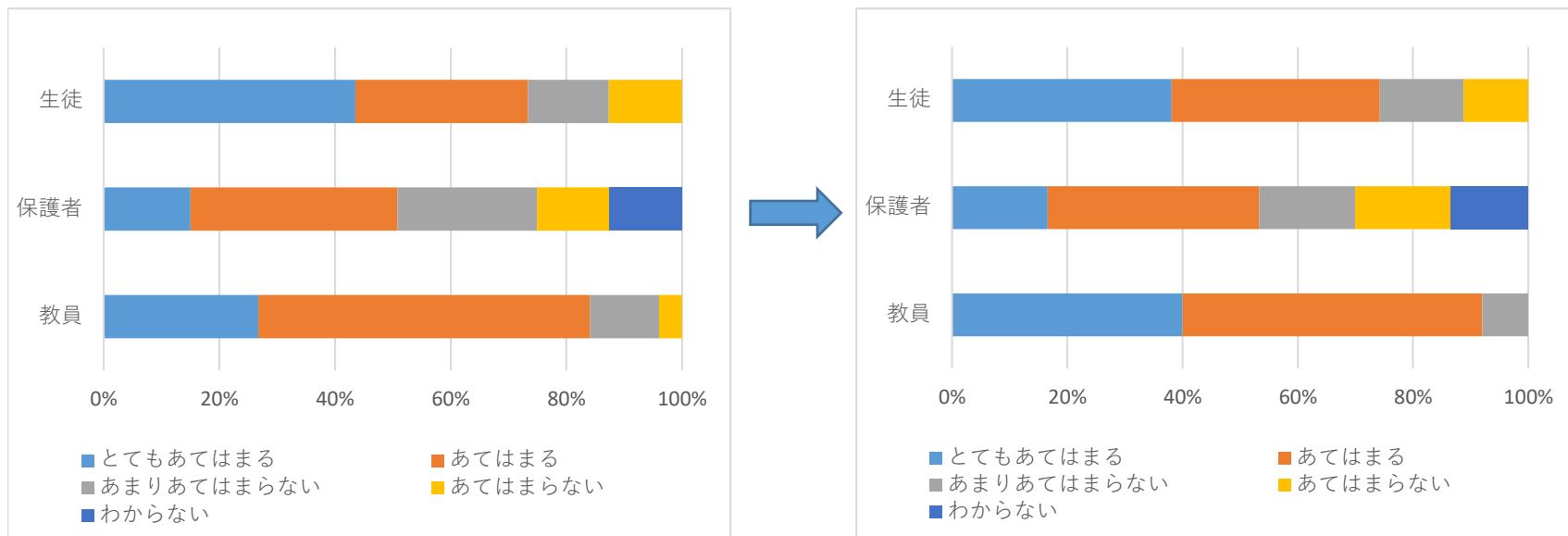
- 全体的な傾向に変化はなく、生徒の意識と教職員の意識は近い。授業や学校行事において生徒が実際に活躍している場面を保護者に理解してもらうため、学校からそして生徒からも情報発信に取り組んでいきます。

8 部活動、ボランティア活動に積極的に参加している



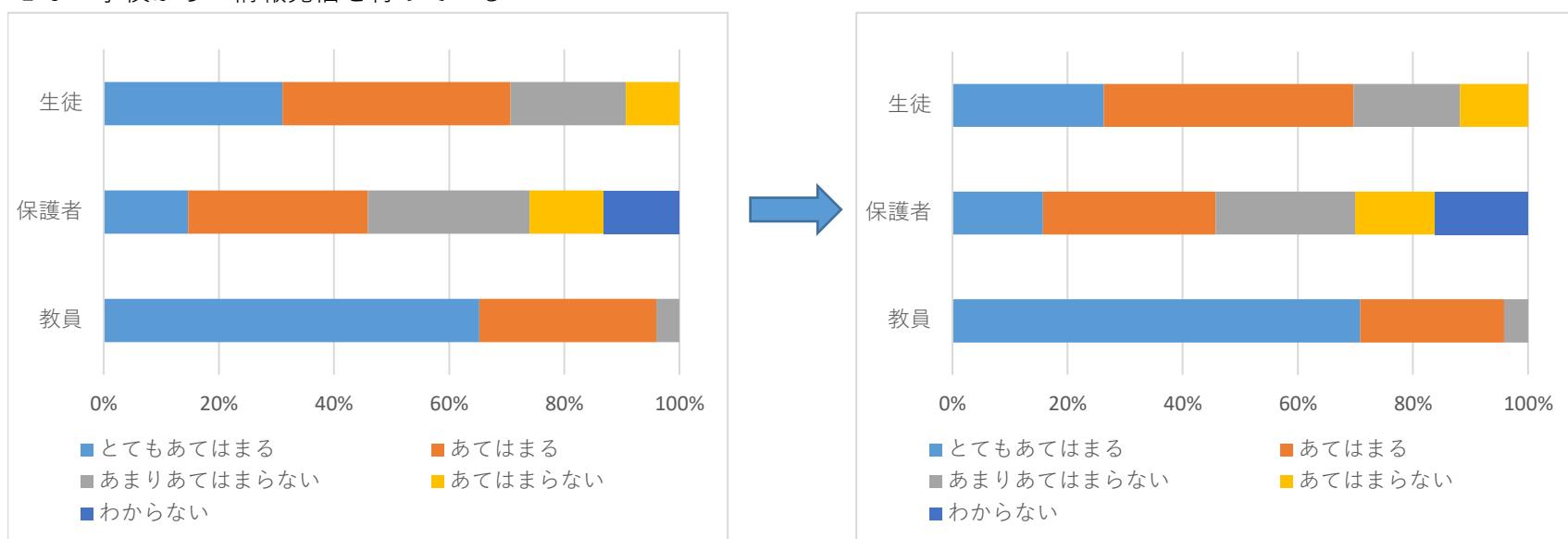
- 全体的な傾向は変化がない。部活動や生徒が自主的に取り組むボランティア活動等への意識は、個人により差はあるが生徒の心身の成長のために、教職員の働き方改革の視点も考え合わせ継続して取り組んでいきます。

9 学校には相談できる環境がある



○ 全体的な傾向に変化はなく、生徒の意識と教職員の意識は近い。様々なことがあり自分でどうしてよいかわからないことに直面するときもあると思います。そんな時に寄り添えるよう確かな信頼関係を築いていきます。

10 学校からの情報発信を行っている



○ 全体的な傾向に変化はない。月1回の学校だより・給食だより等、毎週の学年だより、ほぼ毎日の学校ホームページ記事などの発信を行っています。次年度からはsigfyやタブレットをさらに活用しデータでの情報発信を増やしていきます。

○ 保護者意見への回答

学校教育の充実に向けてアンケートでのご協力ありがとうございます。学校からの視点では気づかないところなど次年度に向けて改善の参考にさせていただきます。

アンケートでは多数ご意見をいただいているが、ご意見の内容から個人が特定されるようなもの、指摘だけで改善策や方向性が不明なもの、お礼等のお言葉もたくさんいただきましたが割愛させていただきました。また、アンケートでのご意見を拝見してさらなる改善に向けて学校からお願いしたいところをお伝えします。

- ①「～と聞いているので改善してほしい」「～という噂があり心配なので説明してほしい」などの聞いた話や噂話を基にしたご意見については、実際に見ていただき、また、一方からの意見だけでなく、双方からの意見や考えを聞くなど全体像を把握した上で、改善のためにどうしたらよいか等のご意見としていただければと思います。
- ②特定の教員を名指してのご意見については、ご指摘通りのことがあるのか実際に見て確かめていただいたり、面談等で直接お話しいただくことにより解消することができたりする内容もあるかと思います。
- ③教職員の休暇等について説明がないとのご意見については、教職員の休暇等は公に認められているものであり、その休暇への対応については学校が責任をもって行う内容と心得ています。学校を信頼していただきご支援・ご協力ををお願いいたします。

学校評価アンケートは、生徒が充実した中学校生活を送るために現状をチェックし改善を図っていく指標となります。また、無記名での回答をお願いしているのは、できるだけ多く本当に困っていることや課題を感じていることを書いていただくための方策で、SNSへの投稿のようにはなってほしくないと考えています。アンケートを行うことで保護者と学校が現状を共通理解し、生徒のために共同で改善策に取り組んでいけるようご理解・ご協力ををお願いいたします。

○学習に関して

・オンライン（リモート）での課題提示や授業配信を進めてもらいたい。

→ある程度の期間を欠席することが見込まれる場合に、学習に関しての不安や進度など気になると思います。本人の体調不良等が欠席の理由でない場合には、家庭での学習に取り組むために学校の授業の様子等参考になると思います。そのために、今年度3学期に更新されるタブレットパソコンの機能を確認し、グーグルクラスルーム等を使いオンライン配信やアーカイブでの保管などできるように整備を進めていく予定です。

・アンケート項目に学習に関するご意見を追加した方が良い。

・定期考査の平均点が低く、学校の取組と家庭でのフォローなど相互理解が必要と考える。

→学習状況に関しては、単元ごとのテスト、定期考査、定期考査のまとめ、三者面談等定期的にご家庭と状況を共有して取り組んでいます。しかし、学習習慣（学校での授業への参加態度や家庭学習の取組など）は一朝一夕には身についていかないものだと思います。また、主体的に学習に取り組む姿勢を身に付けることが必要なことから、教えてもらうという受け身の気持ちからの転換が求められます。現在学校では第一目標として、基礎的・基本的な知識や技能の定着を目指しています。その上に、思考・判断・表現という自分なりの工夫や考え方方が加わります。そのような学習方法を継続したり、取り組み方を調整工夫したりして、自分の学習スタイルを身に付けてほしいと願っています。

○校内生活について

・休み時間にトイレにたまるなどの行為は、安全管理の点からもなくしてほしい。

→授業間の休み時間は、トイレや教室移動・更衣などを済ませ、次の授業の準備をする時間であるため、その10分間を効率的に使う意識が必要です。友達と楽しく過ごすことは大切ですが人の時間を奪わない配慮が必要となります。学校としては前授業の教員が、できるだけ学年フロアに残り生徒の様子に気を配るようにしています。その中で生徒の安全にかかる行為については声をかけたり指導をしたりしています。

・夏季の部活動の試合の時間帯が熱中症警戒レベルであり危険を感じる。

・学校として部活動をどうとらえているか、また、今後の方向性に関して教えてもらいたい。

→夏季の部活動については、WBGT計の値を参考に活動の程度を判断しています。しかし、生徒個人の体調も関係するため、ご家庭からの健康に関する情報や本人の栄養・休養・運動に関する判断力を育てることが危険を回避することにつながると思います。

また、学校での部活動については、文部科学省（スポーツ庁・文化庁）の方針として地域移行が進められています。練馬区でもR7年度には、夏季の土日を中心に区内の総合型スポーツクラブ（大泉地域ではSSC大泉）が地域スポーツの受け入れを試行しました。どのような活動になろうとも生徒の中学校生活を充実させる活動の一つとして、部活動は重要な要素であることには変わりありませんので、今後も東京都教育委員会、練馬区教育委員会の施策に則って対応してまいります。

・再登校について、時間の面、夏季の暑さの面などから改善を望みます。

→再登校としている時間は、教職員が会議や出張で生徒対応や安全管理ができない時間帯です。この課題を解決するためには、教職員が対応できない時間帯でも対応できるように人的な補償が必要と考えます。現在のところ人的資源および人的資源確保のための予算措置がないため対応できないのが現状です。しかし、夏季の暑さの中、片道20分～30分かかる生徒がいることも確かですので、残留条件等の検討は今後も継続してまいります。

・悩みがあったとき先生が親身に向き合ってくださり悪化せずに日常を取り戻すことができた。

・いじめについて様々なケースがあり、子供が被害者にも加害者にもなり得るため、保護者も意識を高めていきたい。

→いじめがいけないということは全校生徒が知識として理解しています。しかし、感情が絡んだり程度問題と考えたりなどから、人間関係のもつれかいじめにつながってしまう現状があります。未然防止や早期発見・解決のために、人権や道徳的価値について機会を捉えて生徒に働きかけています。また、これまで年3回であった生活アンケートを次年度から毎月行ってまいります。ご家庭でもお子様の事で気になることがありましたら、ぜひ学校も共有させてください。ご家庭、学校それぞれの関わり方で安全安心、望ましい人間関係づくりを進めていければと思います。

・物の紛失に関するお知らせを見て、保護者としてできることは何か考えている。

→学校では、生徒に私物、公共物の区別なくものを大切扱うこと少なくとも乱暴に扱わないことを話していますが、特に公共物の扱いについては意識が低いと感じています。校内での私物の紛失（本人がなくした場合、いたずらされている場合など）理由はなかなか断定できません。そのため、記名をする、整理整頓する、お互いに気を配るなど未然防止に努めることが一番有効な対策と考えています。

・先生方の言葉はとても重要で影響のあることをさらに理解していただき、言葉選びや声掛けのタイミングなどの的確な指導をお願いします。

→言葉だけに限らず、生徒の人権に配慮した行動、言動については都教委、区教委、校内での研修で取り組んでいます。しかし、未だに気になる点等の指摘があることについては申し訳なく感じています。今後も生徒、保護者の皆様との信頼関係を確かなもとしていけるように取り組んでまいります。

○ その他

・合唱コンクールは、中学時代に感動し音楽の楽しさを味わえる貴重な体験だと思います。

→1学期の運動会、2学期の合唱コンクールと本校では2大行事として、生徒の自主性、協調性、人間関係作りなど取組を経験することで多くの学びが得られる機会だと捉えています。どちらの行事も3年生ががんばりその団結力やリーダーシップが下級生の良い目標となっています。合唱コンクールは会場を予約する都合上平日開催となります、多くの皆様にご覧いただきたい行事です。

・お便りは全てsigfyで送ってほしい。

・学校公開や保護者開示の保護者出欠確認を、スマホでQRコードを読み込み回答できるようにしてもらいたい。

→保護者向けにはsigfy、生徒向けにはタブレットを活用して、紙でなくてはならないもの以外のお知らせ等はデータで配信していくようにします。ただし、生徒が保護者に学校であったことを話したり、提出期限のある書類の説明をしたりなど効率を重視することで、機会が失われることも予想されますので、ご家庭において共通の話題を作るなどお考えください。

・どんなボランティア活動が行われているのか情報発信してもらいたい。

・ボランティア活動を活発にするために、生徒の意識や実施についての調査や検証をするとよいと考えます。

→本校が毎年ボランティアをやらせてもらっている機会は、西大泉連合町会の行事、西大泉児童館の行事、青少年育成大泉西地区委員会の行事、大三小ねりっこクラブの行事、SSC大泉（大泉学園町体育館）の行事、近隣の高齢者福祉施設の行事などです。次年度からはボランティアの予定など一覧にして周知できるようにしていきます。また、ボランティア部の活動としては、校内の美化活動（普段の清掃では行き届かないところ）や依頼のあったボランティア活動への積極的な参加に取り組んでいます。

・毎週学年だよりがあるのはとても安心します。さらにスケジュールなどがもっと早くわかると助かる。

・学校ホームページの更新により学校生活や宿泊行事の様子がわかる。

・学校ホームページのボタン操作が効率的でないところがあるので改善できるとよいと思います。

→現在、学校だより、給食だより、献立表、図書館だよりは月1回、学年だよりは週1回、学級だより、保健室だより、相談室だよりは適宜紙で発行していて、学校だより、学年だよりはsigfyでの配信、その他については学校ホームページに掲載（氏名などの個人情報を除いて）しています。また、学校ホームページの学校日記にはほぼ毎日1つ以上の記事をアップしています。学校ホームページの閲覧者数は毎日150人～200人で、宿泊行事時などは2泊3日で延べ2000人～3000人の方にご覧いただいている。

学校ホームページで使用しているソフトは、練馬区で共通のもののため学校でアレンジできるところが少ないですが、操作性など区教委へ意見を出しています。

・自分の子どもたちのやることの責任は親にあると思っていますので、学校が過度な負担とならないように親も巻き込んでの対応をご検討ください。

→学校から連絡があることがご家庭にはプレッシャーと感じられてしまうことが往々にしてあるとは思いますが、学校からは良いことも含めてあった事実をお伝えしお子様の成長のために協力、連携を進めていきたいと考えています。生徒には多くの成功体験とともに失敗体験も必要だと思います。何かあったときに、今学ぶべきことは何なのか、そして、この経験をどう生かしていってほしいのかなどの願いを、ぜひご家庭と共有させてください。

・毎日の給食の素晴らしいをありがとうございます。

→本校給食施設は新しく、衛生管理もきちんとしています。また、JAあおば大泉地区アグリセンターの協力により、練馬区でとれた野菜を多く給食に取り入れています。献立にも工夫を凝らしながら中学生に必要な栄養素を踏まえ食べ残しが少なくなるように食育にも取り組んでいます。

・アンケートに回答するための資料が少なく答えられないものがあった。

・保護者会や説明会のオンライン化やアーカイブでの対応を検討してもらいたい。

→学校評価アンケートにご回答いただくための資料（学校の取組など）を整理して、「わからない」という回答を少なくしていければと思います。また、保護者会や説明会は、保護者の皆様と直接顔を合わせてお話しできる大切な機会と考えていますが、ご都合がつかないことも理解できますので、アーカイブなどの方法を検討して行きたいと思います。

生徒による学校評価アンケートの意見への回答です。「よい」「とてもよい」「楽しい」「特になし」など具体的な事柄に触れていない肯定的評価の意見がたくさんありましたが、紙面の都合上割愛しています。改善につながりそうな意見はできるだけ掲載していますが、明らかな勘違いや個人攻撃になるような意見は、改善方策につながらないため削除しています。

○学習に関して

① ICT機器やタブレットについて

- ・タブレットを使いすぎて目が悪くなるから減らしてほしい
- ・タブレットを使用してわかりやすい授業を受けられていると感じる。
- ・もっと、スライドを一人で作り、それをみんなの前で発表する機会を増やしてほしい。
- ・自分たちでスライドを作るのが楽しい
- ・ICT機器を使って授業をしているのがとてもわかりやすい。
- ・もっとタブレットを使った授業をしてほしい。
- ・もう少しタブレットの授業を多く
- ・もう少しタブレットを使って授業をしたい
- ・スクリーンを使うときに字が見えないから大きくしてほしい。
- ・タブレットなどを有効活用していくいいと思う。
- ・最近はICTを使う授業が多くなってきて前よりもわかりやすくなった。
- ・タブレットなどをを使った授業も積極的に行われていてわかりやすいです。
- ・パソコンを活用していくいいと思う
- ・タブレットを使用して分かりやすくなつたけど、タブレットで遊ぶ人がいるのでそれが問題だと思う。

→ タブレットやICT機器を使っての映像資料、デジタル教科書など、教科の特性や単元などの学習内容によりわかりやすく授業を進めるにはどうしたらよいか工夫しながら授業を進めています。しかし、先生によってデジタル技術の習熟度に差があるのも事実です。そのため、先生方は研修会に参加したりICT支援員に教えてもらったりして授業力の向上を目指しています。これから授業ではさらにタブレットパソコンの活用率が上がると思いますので、忘れないよう、壊さないよう、無くさないように大切に扱っていきましょう。

② 授業の進め方について

- ・黒板やプリントを使う授業がわかりやすいです。
- ・分かりやすい授業で入試対策もできるのでとてもありがとうございます。
- ・どの先生もわかりやすく授業をしてくださいます
- ・先生がわかりやすい授業をしてくれている。
- ・よくわかりやすい指導があつていいと思った。
- ・もう少し考える時間がほしいです。
- ・授業がわかりやすくて良いと思います
- ・いつも楽しい授業をしてくれている
- ・授業を進めるスピードがとても早いことがあります、授業についていけないことがあります。
- ・とても分かりやすい授業
- ・先生たちが授業でわかりやすく説明してくれるから授業がわかりやすい
- ・生徒に質問されても「知らない。自分で考えて。」と冷たく答えていたのを見た。すべての先生がこうではない。
- ・先生の授業はわかりやすい。
- ・どの授業もとてもわかり易い
- ・授業がすごくわかりやすい
- ・すべての授業がわかりやすく、自分のためになってとても良い。
- ・授業もわかりやすく、学校生活も楽しい
- ・授業がわかりやすい。
- ・わかりやすい授業です
- ・みんなが理解してから次の学習に進んでほしい
- ・とてもわかりやすい授業で友達とも関係が良くて学校にいて楽しい
- ・授業もわかりやすいし、いい学校だと思います。
- ・先生によって教え方の丁寧さが違う
- ・授業がわかりやすい
- ・質問にはきちんと答えてくれたら助かります。授業で1度聞いただけではわからない人もいるので。
- ・わかりやすい教育でいいと思う
- ・先生たちの授業などがとっても受けやすいし、話しやすい
- ・わかりやすい勉強法を教えてくれる

→ 全校朝会でもお伝えしましたが、授業では「教えてもらう」という受け身の姿勢ではなく、今まで学習したことや調べたこと教え合いでわかったことなどをフルに活用して、自ら学びを進める姿勢が求められています。また、わかったのレベルが、その時はわかったけれど、家に帰ってやってみたらわからなかつとなつてしまわないように、確実に自分の知識や技能となつてのわかったにしていきましょう。

③ その他

- ・テスト前の朝読書の勉強時間を二週間前からしたい
- ・英語の授業を技能別クラスに分けて実施してほしい
- ・もう少しグループの発表を増やしてほしい
- ・発表する時があったり友達と交流できる時間を多く取ってくれる
- ・思考力、判断力、表現力、などがくわしくしれる
- ・授業の時に喋ってる人がいて集中できないのでしっかりと注意してほしい。
- ・学校で楽しく勉強しています。
- ・良い環境で学習ができていることがわかった次のテストに向けて勉強をしていきたいです
- ・一度に出される宿題の量が多い
- ・先生が、人によって接し方が変わっている気がします。
- ・グループ活動を増やしてほしい
- ・意見が言えない子も、安心して言えるような授業にしてほしい。
- ・定期テストのレベルが高すぎだと思います。
- ・安定して勉強ができている 授業で不安に思ったことはあまりない
- ・色々な学習方法で授業をしているので、楽しいです。
- ・「総合は自分の興味関心があるテーマを見つけたり調べたり発表したりする」とありますが、あまりそういった授業は無かったと思います。
- ・私達の将来のことを考える授業を行ってくれている。
- ・勉強できる環境が整っていると思う
- ・総合では自分たちが興味のあるテーマについて調べ理解し、発表することで学んだことをみんなで共有できた。また、それとともに社会のルールやマナーなどを学ぶことができ、とても充実した時間をおくれたから今後も続けていってほしい。

→ 出してもらった意見について改善できるところは取り組んでいきますが、学習への取り組み方や生活習慣などは人それぞれです。学校の授業では基礎的・基本的な知識や技能の習得に力を入れ、皆さんがマスターしていくように取り組んでいます。また、単に素早く答えを出すための方法を覚えたり試験対策の暗記など効率的な学習をしたりすることではなく、なぜそうなるのか、どういうことに気づくと理解に近づけるのか、分析するための視点やわかりやすい発表にするための資料作りの工夫はなどトータル的に学習していくことを大切にしています。

○人間関係について

① 生徒と先生

- ・人によって態度の変わる先生がいるのが不満です。
- ・もうちょっとクラスの様子を見たほうがいい
- ・先生が相談に乗ってくれたりするので嬉しいです。
- ・生徒に寄り添っていると思う
- ・生徒のことを第一に考えてくださっている。
- ・先生方がサポートしてくれています
- ・一人ひとりにしっかりと向き合ってくれているのでとても楽しく学校生活を送ることができます。
- ・もう少し生徒に対して厳しくしていかないといけないと思う
- ・先生方が生徒のこと思ってくれている。
- ・生徒の意見を聞いてくれていると思う。
- ・ちゃんと怒ってくれて自分からも成長できる
- ・学校は先生や友達と一緒に授業できるから楽しいけれど、先生の言葉遣いや男女差別など少し困っている。
- ・差別がすごい
- ・もうちょっと一人一人の意見を聞いてほしい
- ・先生がみんな面白くて優しくて親しみやすいから毎日楽しい。
- ・学業のことだけではなく日常の生活のことも指導してくれるのが頼もしいです。
- ・もっと怒るときに何に対して怒っているのかをはっきりしてほしい
- ・先生方は生徒に親身になって教育をしている
- ・先生方は私達の学校生活をより良くしてくれようとしていて、とてもありがとうございます
- ・先生が生徒のことを思ってくれて安心できる
- ・先生たちがいいところをしっかりと認めてくれているから嬉しい。
- ・先生からの意見やアドバイスをくれて嬉しかった。
- ・生徒のことを第一に考えることができて、良くなることはあっても悪くなることはないと良いと思います。
- ・先生方がいいところを褒めてくれて嬉しいです
- ・先生も明るくていい学校
- ・厳しいときは厳しいのでいいと思います
- ・生徒一人ひとりに寄り添っている
- ・先生と生徒の距離が程よい
- ・先生たちが生徒思い

→ 先生としては日々の関わりの中で、生徒一人一人から信頼を得られるように教師としての役割を果たしていこうと考えています。そのため、目配り、気配り、心配りを意識して、生徒が安全に楽しく生活できるように教員それぞれの個性を生かしながら生徒と関わっています。生徒にはいろいろなタイプの大人とのかかわりの中で、自分の距離感や境界線の示し方など身に付けていってほしいと思います。また、良好な人間関係作りには相互理解による歩み寄りが大切です。自分は絶対に正しいと考え、相手の考えを受け入れられない自分本位ではなく、多様性を認められる柔軟な心や態度を大切にしていきましょう。

② 生徒同士

- 生徒のみんなが生活しやすいように工夫している。
- 自主的に取り組むということを念頭に置き、日々取り組めています。
- 挨拶が多くて活気があっていいと思います。
- 協力してできている。

→ コロナ禍以降、人間関係を苦手とする生徒が多くいましたが、コロナによる規制が解除されて3年~4年たち徐々にコロナ前の楽しい関係に戻ってきているようです。学校では生徒が自主性を発揮する機会である行事や委員会・係・班活動などの取組を大切にしています。日々の人間関係は良好なものばかりではないと思いますが、いろいろな経験から学んでほしいと思っています。そして、保護者の皆様にも壁を乗り越えていくお子様を見守りながら、成長する様子に寄り添っていただければと考えています。

③ いじめに関して

- ・いじめを許さない心を教えてくれるのはありがたいと思います
- ・いじめに対して対策ができていない
- ・いじめのない学校を目指しているので良いと思う
- ・いじめがないように動いてくださっていて、安心して学校に通えています。
- ・いじめもなく快適に過ごせています。とても楽しいです
- ・いじめとまではいかないかもしれません、からかいや友人関係のトラブルが起こることがあります。こういったことについて先生たちは気づいているのかもしれません、早めに対応していただけすると安心して学校生活を送れる人が増えると思います。
- ・いじめアンケートでいじめを告発する人は少ないと思う

→ いじめはなくならないと大きな声で言う大人もいます。しかし、いじめが人間関係の中で悪い関係で無くしたい関係であることには誰もが賛成だと思います。いじめをなくすために自分にできることがあるのではないかと気づいた人から地道に取り組んでいきましょう。そんなつもりではなかったとか、軽い気持ちでなどと言い訳をするのはやめましょう。自分の人権と同じように他者の人権も尊重しましょう。来年度から困っている人の助けになるようにこれまで年3回だった生活アンケートを毎月行っていきます。自分が困っていることはなかなか言い出しにくいことですが有効に活用してください。

○その他

① 教育活動全般について

- ・学校の教育活動について、満足しています。
- ・カリキュラムが良いと思います。
- ・とてもよい教育活動だと思います
- ・教育活動は今そのまま続けていってほしいです。先生方が相談に乗ってくれやすい方がたくさんいるので安心です。
- ・学校側の教育については問題ないです。
- ・このまま学校の教育活動を続けてほしい
- ・いい教育方針だとは思うし、来てみていい学校だと思います。でも、服装などに関する規律が少し厳しいのでは感じる時があります。小学校でも、一時期噂になっていました。

→ 公立学校の教育活動は、基本的にはどの学校も学習指導要領など法的な根拠を基に計画されています。次に、学校に通う生徒や地域の様子からどのようにしていくか検討し目標を定め、目標実現のための柱となる活動を計画し実践していきます。今回のアンケートのように改善点を見出し評価していくことで次の新たな計画作りを進めています。今後も生徒の安全が保障され、安心して楽しく充実した中学校生活を送ることができるように努めています。

② 学校環境や雰囲気について

- ・特に問題なく過ごせているので、このままでいいと思いました。
- ・学校が過ごしやすいから良い
- ・私達が安心できて過ごしやすい環境をつくってくれてありがとうございます。
- ・毎日楽しく過ごせてとても良い場所です。
- ・安心できる学校である
- ・学校をもっとよりよくしていきたい
- ・たくさんの方が見守ってくれている中で楽しく過ごせています
- ・できないこともあるけど、全体的に良いと思う
- ・毎回掃除をしてくれる人がいるから、学校がきれいな気がします
- ・全員の意見を取り入れている良い教育だと思います。部活動などにも安心して取り組めています。
- ・安全で安心できて学習が捗っている。
- ・挨拶をしっかりしたり、授業を真面目に受けることができた
- ・意欲的に取り組める環境なので良いんじゃないかなと思います
- ・生活指導等が改善させようとしているように見えない
- ・もっと安心できる学校づくりに努めてほしいです。
- ・先生方々のおかげで楽しく生活できています。
- ・わかりやすく丁寧に授業を教えてくれてるし、生活面でも安全に過ごせているのでこのまま学校生活を続けて行きたい。

→ 本校の施設は完成してから5年目を迎えてます。設計段階から安全性・効率性・使いやすさなど考えられ建てられています。区内の学校には築60年以上の校舎を使っているところもあります。施設面など恵まれた環境をきれいなまま維持し代々受け継いでいってください。また、生徒の皆さんのが自分の生活する環境についてしっかり考え感謝する気持ちを持っていることが素晴らしいと感じました。学校の校風や雰囲気というものは生徒の作っていくものと思います。誰もが楽しく生活できる学校となるように協力してください。

③ ボランティアについて

- ・ボランティアなどに積極的に活動できている。
- ・ボランティアなどに積極的に取り組むことができている。
- ・自分は委員会に入っていないので放課後に学校のボランティアをしました
- ・とても西中は楽しくて、西中はボランティア活動に積極的に参加しているのでとても良い学校だと思いました。
- ・積極的にボランティアに参加しようと思った。

→ ボランティア活動に協力してくれている皆さんありがとうございます。自分に余裕がある時に人のためや環境のためにできることに取り組もうと思える心が育っていることはとても嬉しいことと感じています。学校に依頼のあったボランティア活動をきっかけにボランティア活動について考え、できることを見つけ取り組むことで、皆さんの周りに笑顔の輪が広がっていくことを期待しています。

④ その他

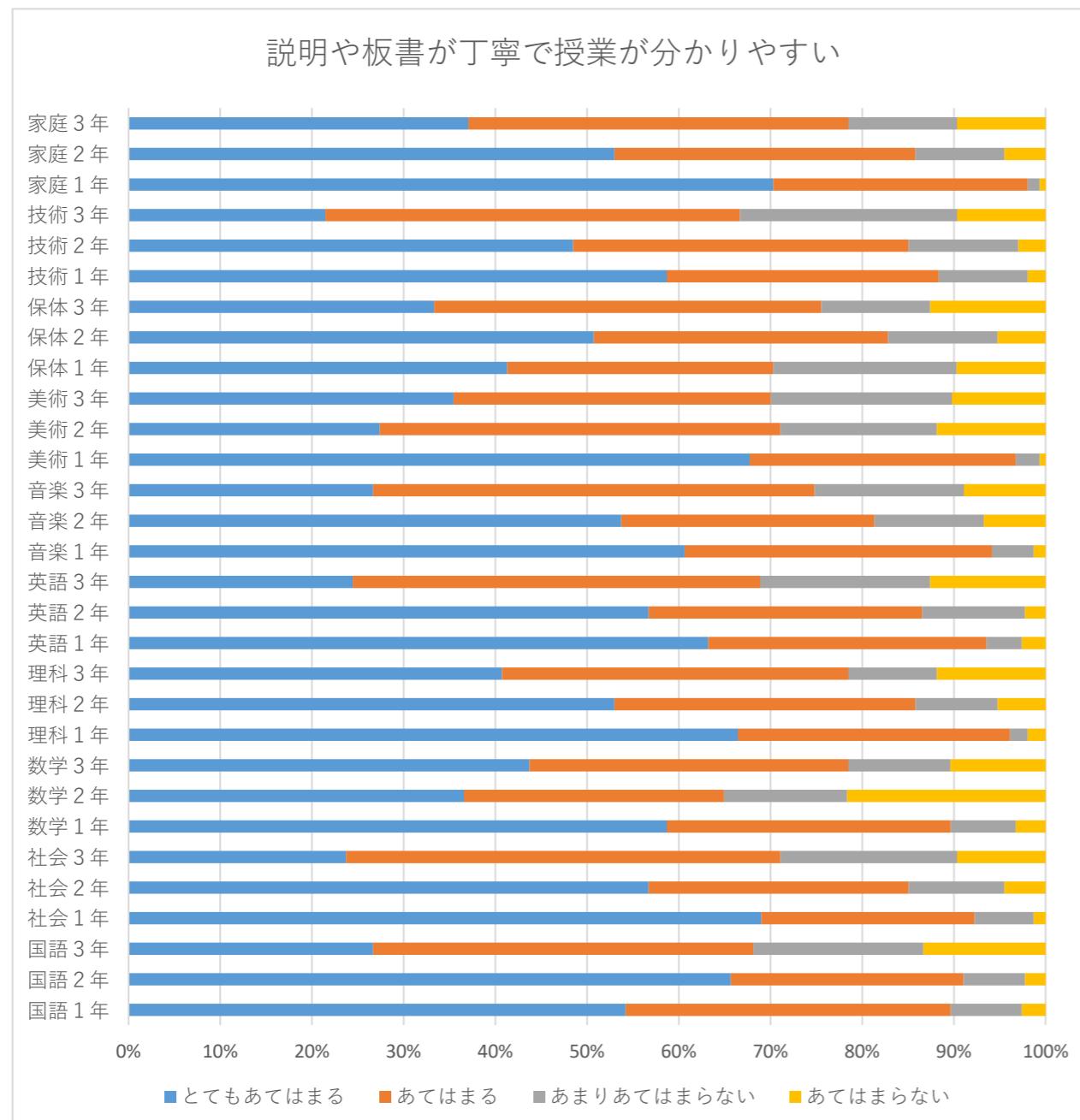
- ・先生たちひとりひとりの負担が大きいと思います
- ・先生一人一人の負担が大きいと思う
- ・問題行動を起こした人の再犯率が高いのでもう少し強く叱ってほしい
- ・校則を少しゆるくしてほしい
- ・なんでもかんでも、スクールカウンセラーというのはよくない。自分ができることをしないのはよくない
- ・道徳や服装といった点で指導していますが物の破損やいじめなど、生活指導するだけあまり変化が見られません
- ・体育の授業でまだ寒くないからジャージを着てはいけないといわれた事があるがいつでもOKにしてほしい。夏場のエアコンが寒すぎることがあるため、温度調節をしやすくしてほしい。暑い人が我慢するのは難しいとおもうので対策として寒い人はジャージを着ていいというルールなど検討してほしいです。
- ・部活動に入っていると体育などで活躍できるため、褒められて嬉しい
- ・3分前着席が納得できない
- ・生活に困ることはない。
- ・学年同士の関わりのイベントも増えてきて良いと思います。

→ 校則や生活指導については、個人により感じ方の差があると思います。特に校則については改善のための手続きなど皆さんにもお知らせしているので制度を有効に使ってください。そして自主・自治を実践できるようにしていきましょう。生活指導については、指導の意義や理由を伝えその後の目標なども示していくますので、人の意見や考えを柔軟に受け入れ、自身の成長のため集団の成長のために、大変な思いをすることもあるかもしれません、一緒に改善に向けて取り組んでいきましょう。

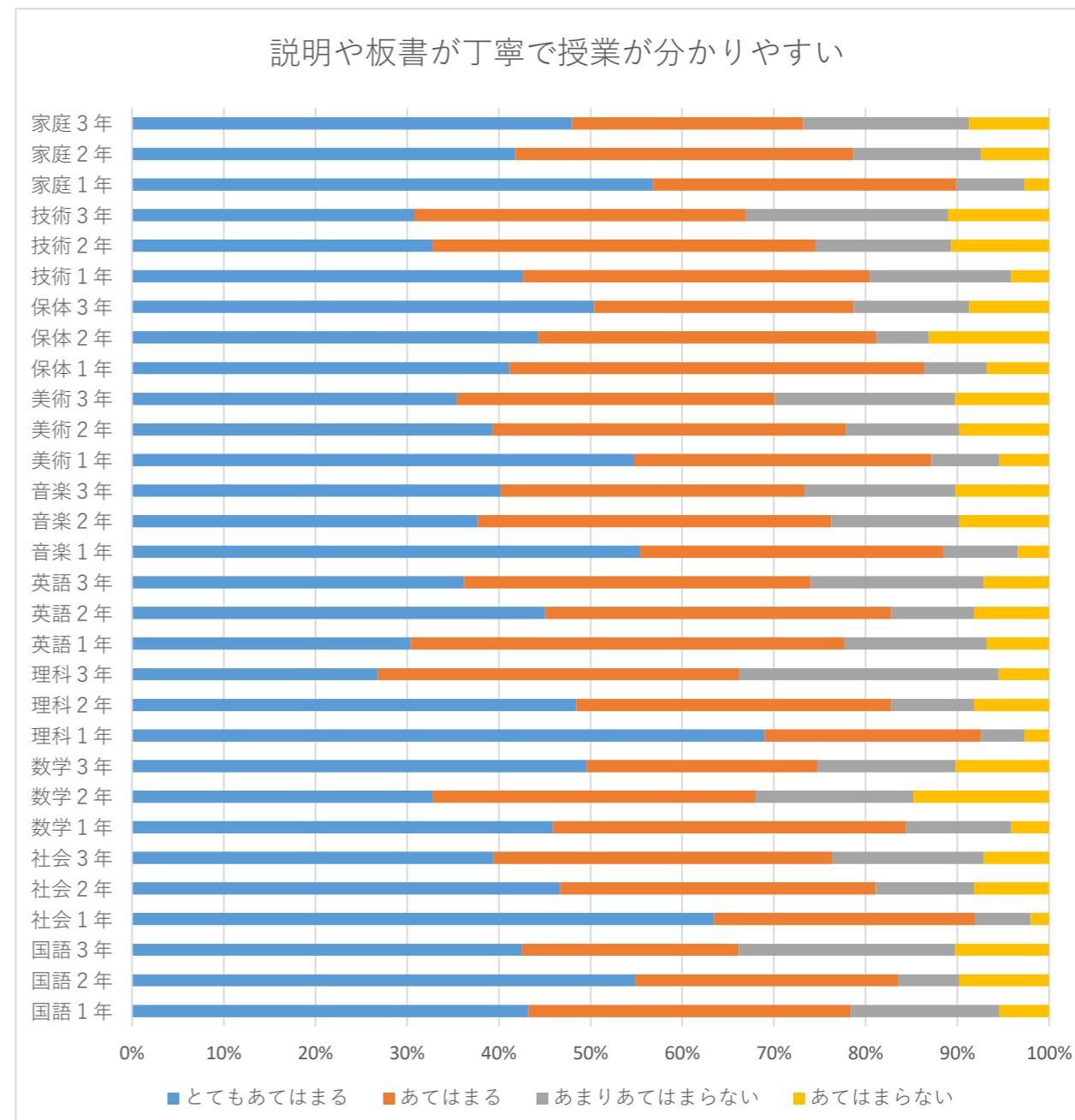
授業評価アンケート第1回（7月）と第2回（12月）の比較より

- 1 説明や板書が丁寧で、授業がわかりやすい。また、単元や学期毎の評価について丁寧に説明してくれた。

○第1回【7月】（教科名の数字は学年を表す）

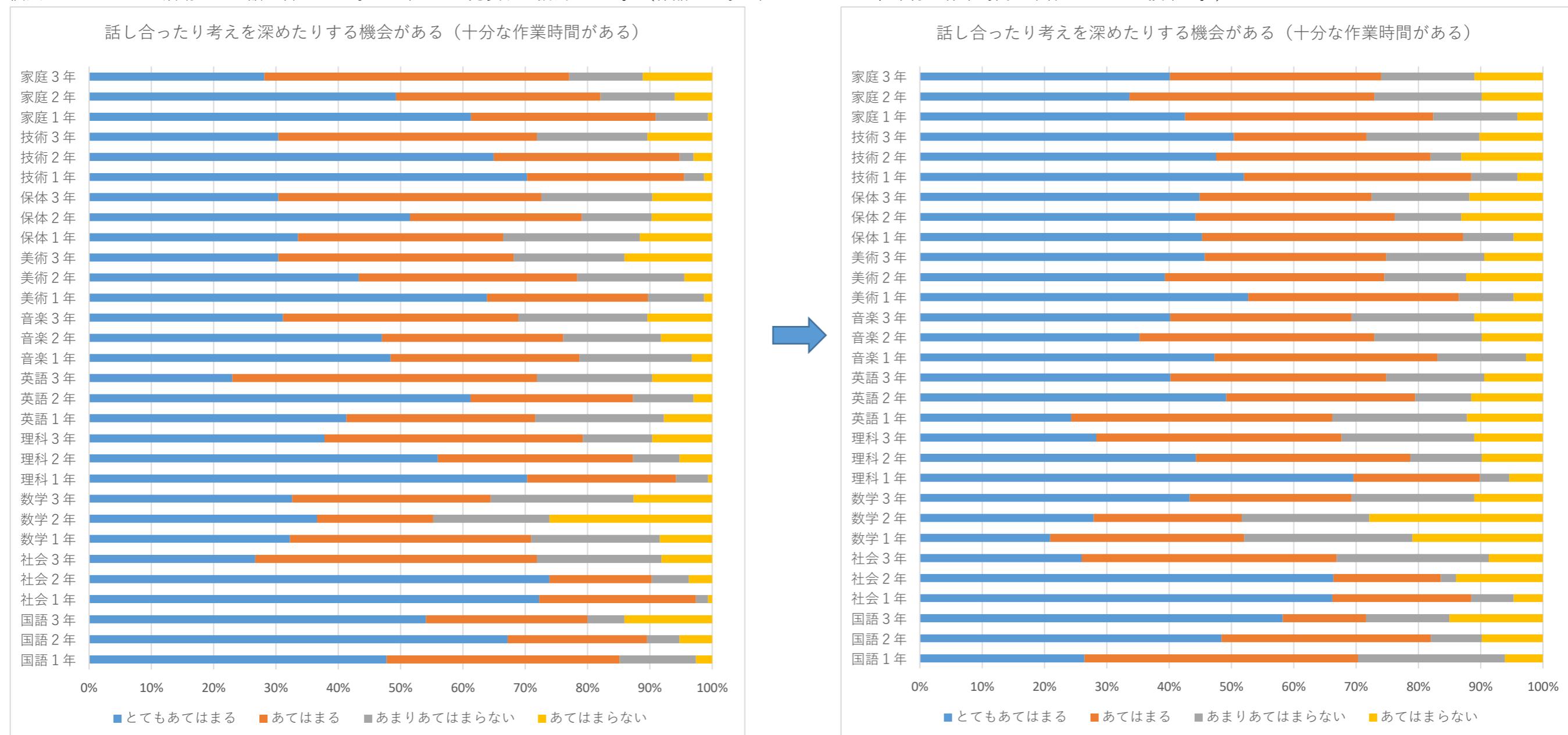


○第2回【12月】（教科名の数字は学年を表す）



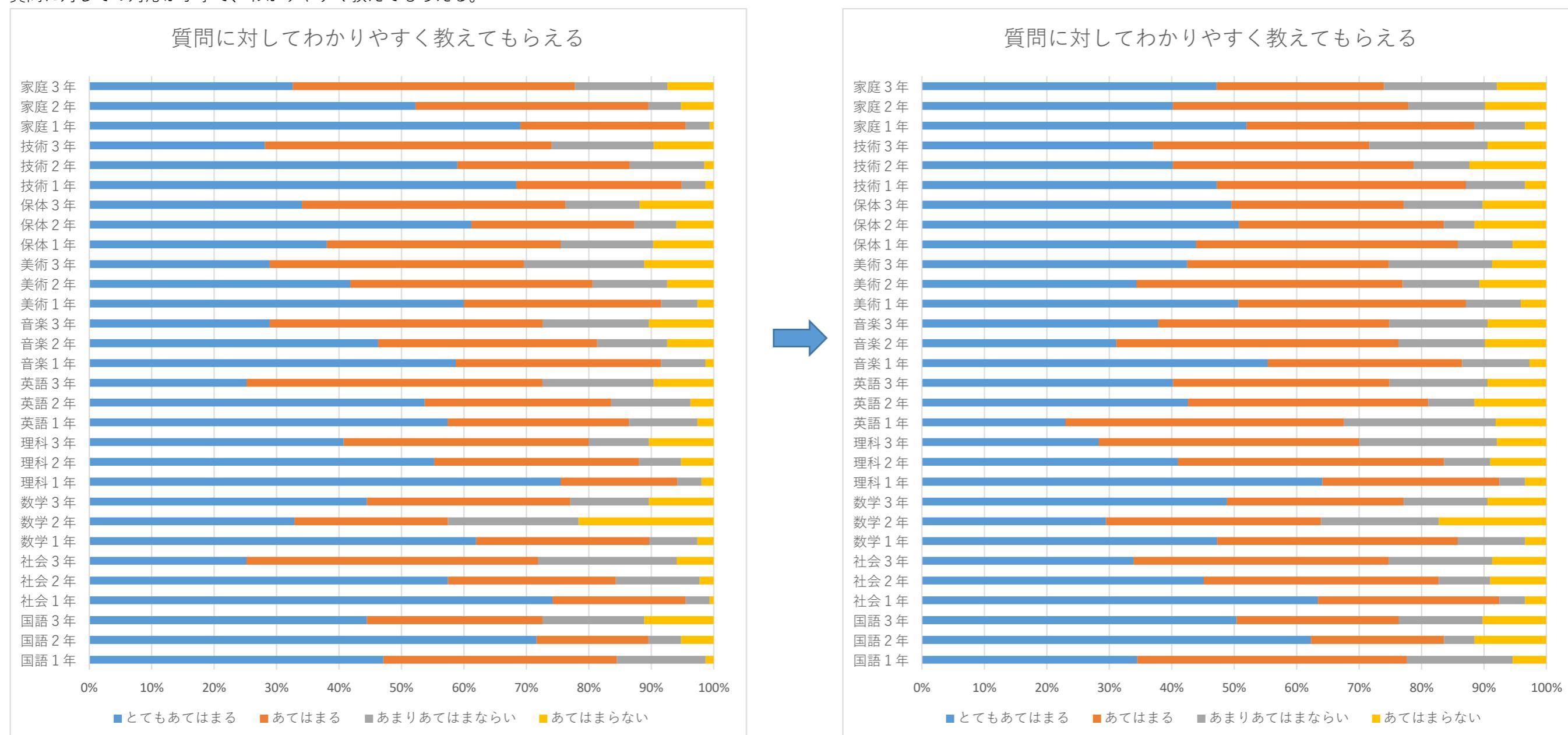
- 「とてもあてはまる」「あてはまる」との肯定的な評価が80%以上の教科が16から11に減少しています。
- 肯定的な回答の減少は、1学期から2学期へと学習内容（分野や単元）が変わることや学習内容が難しくなること、主体的な学習への取組状況の変化などが考えられます。
- 全体的には肯定的な回答が80%を超えるように、また、生徒個人的には既習事項の確認、単元のまとめの確認など丁寧に行い授業改善を進めていきます。

2 個人やグループでの活動により話し合ったり考えを深めたり発表する機会がある。（作品を丁寧に仕上げるために、十分な作業時間が確保されている授業だ。）



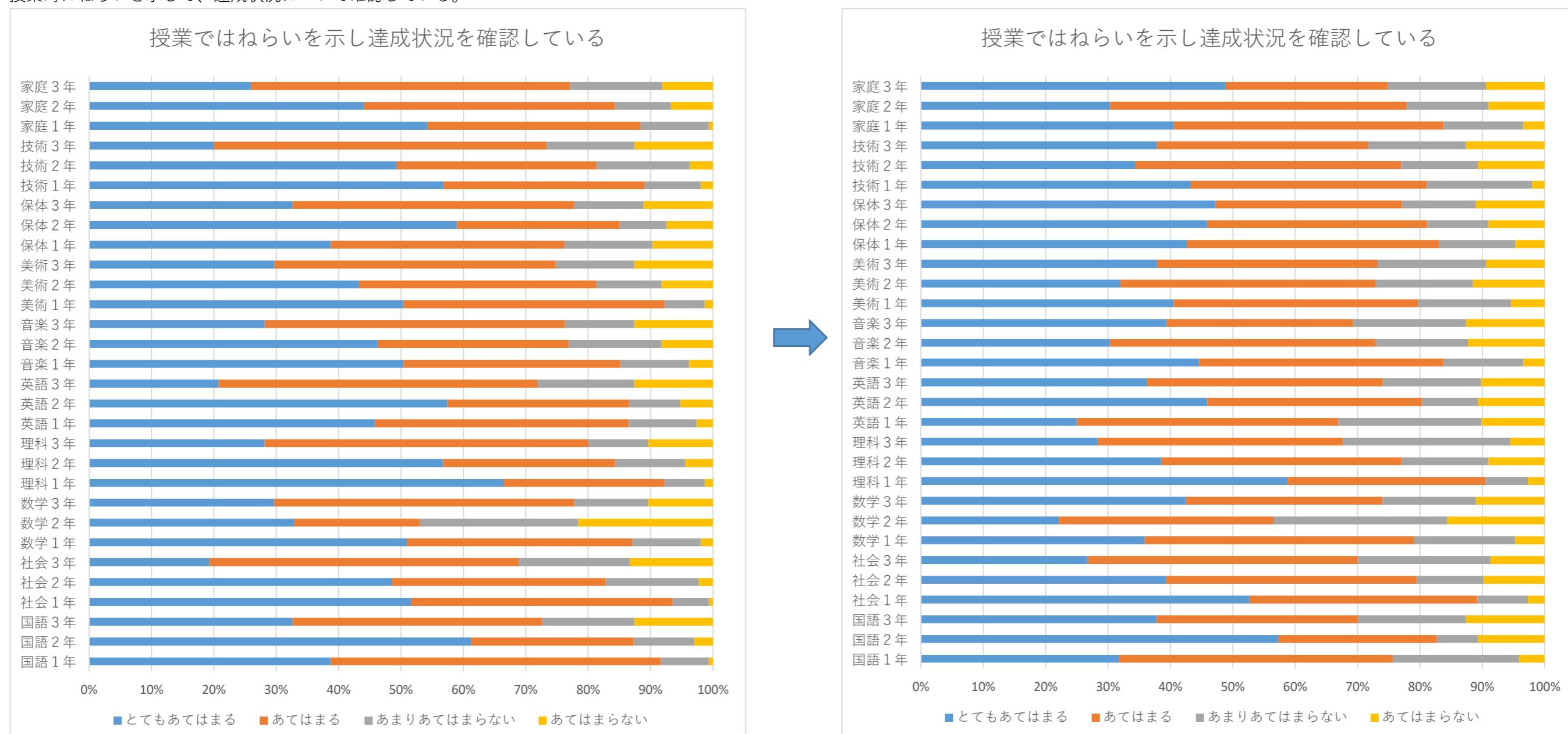
- 「とてもあてはまる」「あてはまる」との肯定的な評価が80%以上の教科が12から10に減少しています。
- 肯定的な回答の減少は、学習内容（分野や単元）が変わることや実技教科では作業時間の十分な確保等が考えられます。
- 主体的に学習を進めるために他者の考え方や意見に触れ、意見交換によって考え方を深める機会を積極的に授業計画に入れ、また見通しをもった学習のために作業時間の確保等を計画します。

3 質問に対しての対応が丁寧で、わかりやすく教えてもらえる。



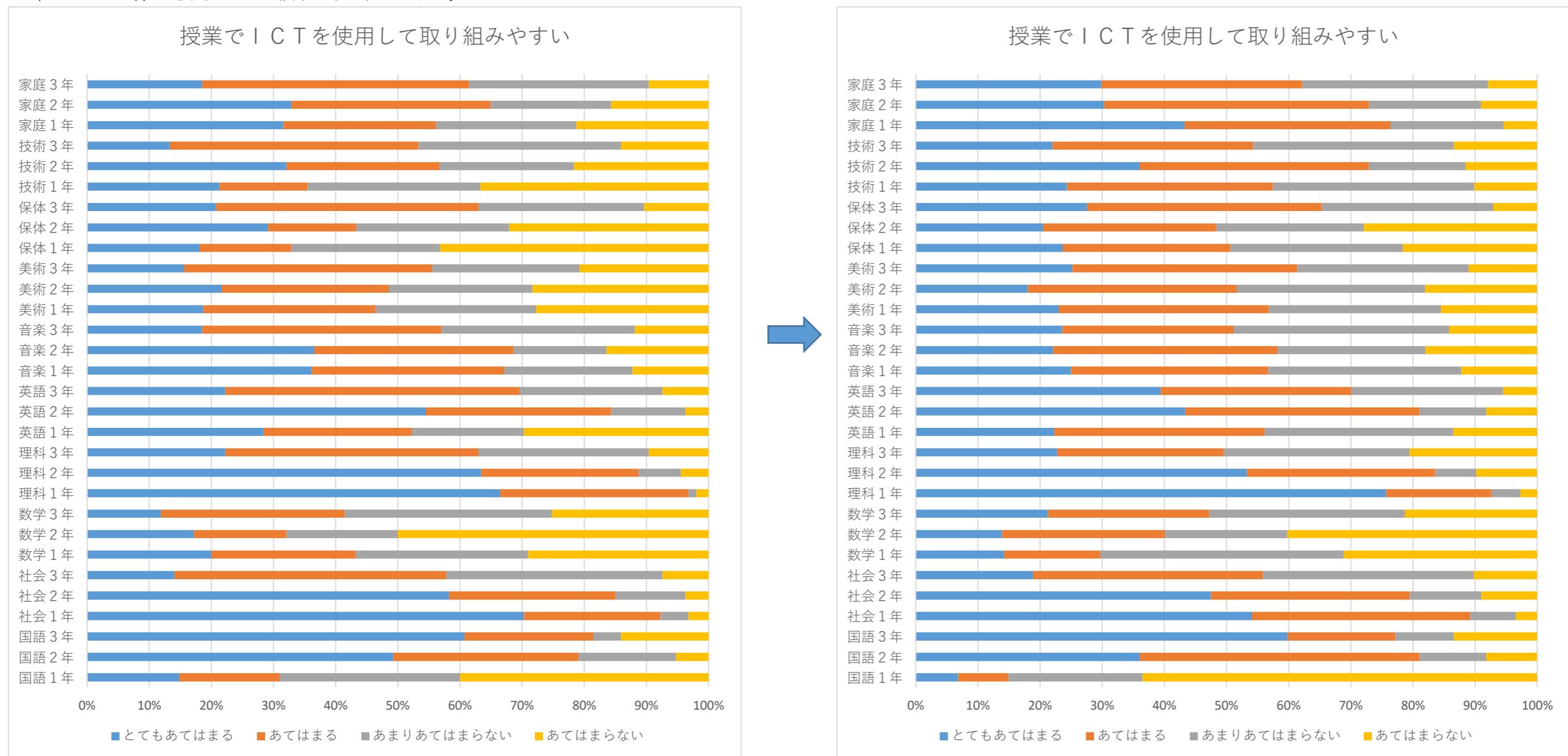
- 「とてもあてはまる」「あてはまる」との肯定的な評価が80%以上の教科が18から13に減少しています。
- 学習理解を進めるための質問は学習向かう姿勢として評価できるので、質問内容から思考判断へのアドバイス等、個別最適な学習につながるように質問タイムや教え合い活動の設定など、学習内容や学習進度を考慮して適切に設定していきます。

4 授業時にねらいを示して、達成状況について確認している。



- 「とてもあてはまる」「あてはまる」との肯定的な評価が80%以上の教科が17から8に減少しています。
- 単元等のまとめでは学習の計画と評価の観点について説明することで、見通しをもった学習につながります。また、授業においては本時でのねらいや達成目標を示すことで、生徒が主体的に学習に取り組む姿勢を引き出します。授業のまとめで達成状況や理解状況を確認することは理解や定着につながるので、各教科において確実に実行していきます。

5 ICT(タブレット等)を使用している授業で取り組みやすい。



- 「とてもあてはまる」「あてはまる」との肯定的な評価が80%以上の教科が6から5に減少しています。
- 実技教科でICT機器の使用率が低いのは、授業において実技や作業に取り組んでいる時間が多いためによる。
- 教科の特性や分野、単元により、ICT機器の利用が有効な場合やノートやワークに書きながら学習を進める場合など、基礎的、基本的な知識や技能の習得を進める上で、効果的な方法を生徒の学習状況など考慮しながら、各教科の年間指導評価計画に反映させていきます。

第2回授業評価アンケートでの記述について

各授業について意見ありがとうございます。各授業の全体的な傾向は授業評価アンケートの数値を判断指標としていきますが、個別の意見も授業改善のための資料としていきます。

学校評価アンケートでの意見と同様に、「よい」「とくになし」などの具体的な指摘がないもの、対象の教員へ、もしくは記入者の個人的な視点によるもの、事実に基づかないものは削除しています。生徒の皆さんには全校朝会でもお伝えした受け身の態度ではなく、自主的に授業に臨むということはどういうことかを考えてください。授業内容をしっかり身に付けようと、精一杯努力したがそれでもわからないという生徒が多数いるようであれば、教師の工夫が足らないと言えます。しかし、自分は努力をしないで、わからないのは相手のせいだという考え方の人がいるとすればとても残念なことです。授業は、授業に参加する生徒と担当の教師とで作り上げていくものです。良い授業が増え生徒が力を伸ばし、将来にわたって活躍してくれるこことを願っています。

○ タブレットやICT機器の活用

- ・国語科でタブレットでスライドをただ作るだけではなく、本文の説明などを解説してほしい
- ・国語の授業でもう少しタブレットを使いたい
- ・社会の授業や理科の授業でタブレットを使う授業を多くしてほしい
- ・社会の授業の中で、タブレットを利用する機会を増やしてほしい。
- ・社会は今のようにスライドを自分たちで作るほうが頭に入ってくる
- ・数のスライドを大きくしてほしい
- ・タブレットを使う授業を増やすべきです
- ・もっとパソコン等を使ってほしい
- ・もっとタブレットを使って授業をしたい
- ・どの教科でも良いので、個人でスライドを作り、それをクラスで発表する機会を作り、増やしてほしい。
- ・ICTを使ってはいないのが多いけれどわかりやすいのが多かった
- ・特にならないが、スクリーンの字を見やすくしてほしい。
- ・全体的にタブレットを使って行う授業が少ないのでもう少し増やしてほしい
- ・タブレットを使ったことでやりづらくなったことが何回かあった。
- ・タブレットを使用してほしい
- ・タブレットの提出を少なくしてほしい。
- ・もっとタブレットを利用した授業がしたい
- ・タブレットを使い自分で調べるという作業をふやしたい
- ・タブレットをもっと活用すべきだと思いました
- ・ICTを活用した授業を増やしてほしい

→ ICT機器やタブレットパソコンは、生徒が授業内容や課題について理解していくための道具です。使った方がいい内容、また逆に使うとわかりにくくなることもあるかもしれません。教師のICT機器の操作熟練度が授業に影響しないように操作やより理解を進めるための活用法など研修しています。

○ ノートや板書について

- ・社会では、できればノートに書きたい
- ・社会のプリントか板書かどちらかにしてほしい。
- ・社会の先生の授業で、もう少し板書を丁寧に書いてほしい
- ・板書を多くしてほしいです。
- ・全体的に板書をわかりやすくしてほしい
- ・板書を書き進むのが速い教科がある。
- ・板書や説明などがどの教科もすごく丁寧でわかりやすいです！
- ・なるべく黒板に書く字は丁寧にして欲しい
- ・ノートを使いたい。数学では教科書を使いたい。

→ 教師は授業実施に向けてその授業の指導計画を作っています。授業の導入として前時の復習をして今日のメインに進みその中で生徒にどう質問をしていくか、どういう意図で作業をするか、そしてまとめるなど、授業の流れを考えます。その中で、ICTを使う部分、板書をする内容と書き方（色使いやマーク）も準備しています。今後も授業に集中しやすくより理解を進められる方法を検討し授業改善を図っていきます。

○ 授業内容の理解や進め方について

- ・国語の授業がとてもわかりやすく、頭に身に着けやすい。
- ・国語の文章解説をもっとしてほしい。英語ではより文構造を重視してほしい。数学、理科ではより問題演習を増やしてほしい。社会ではノートかプリントのどっちかにしてほしい。
- ・国語は難しい言葉を簡単に説明してくれるとありがとうございます。
- ・国語の勉強をもう少し簡単に説明をしてほしいです。
- ・国語の授業について、各単元の本文の解説をしてほしい。
- ・社会の授業がわかりやすくかつ楽しく受けられてどうしたら生徒が授業内で理解できるかを工夫して授業が行われていると感じたのでこれからも楽しく授業がしたいです。
- ・難しいと思うけれど、社会が板書ばかりでわかりにくいくらいから、もうすこしちゃんと説明してほしい。
- ・数学以外の教科で班の人と相談する時間がほしい。国語教えるスピードがはやくてどこやっているかわからない。
- ・数学のように問題のたびに話し合いするのを全部の教科に入れてほしい
- ・理科の授業で実験をする際に、丁寧に説明をしてくれるのですが、説明の時間が長過ぎると思います。実験の時間をもう少し多めに取ってくれば助かります
- ・英語の授業は技能別に複数のクラスに分けて実施してほしい。英語技能は個人差の大きいもので全体が同じような理解度になっていないから。
- ・英語の授業で急に英語を使っていて、早口で聞こえづらい。
- ・英語の授業をもっとわかりやすく楽しくしてほしい。
- ・重要なことをもっとピックアップして授業してほしい
- ・授業全部わかりやすいです。これからも続けてほしいです。
- ・授業はわかりやすいです。
- ・どの教科もわかりやすい
- ・わかりやすく丁寧に教えてくれます。
- ・授業がわかりやすい
- ・授業はわかりやすいです。
- ・すごくわかりやすいです。
- ・大体の先生の授業がわかりやすくて西中で良かったと思える
- ・わかりやすく授業をしてほしい
- ・全体的にわかりやすい授業が多い。
- ・いつもわかりやすい授業をありがとうございます☒
- ・もう少し、丁寧に説明していただけると嬉しいです。
- ・丁寧に教える努力を続けてほしいと思った。
- ・もう少し授業の目的やゴールをはっきりさせてほしい
- ・授業の狙いを教えてほしい
- ・少しグループワークを増やしてほしいと思いました。
- ・グループで話す時間を増やしてほしい
- ・グループ活動を増やしてほしい
- ・全体の教科で班で話し合う機会を増やしてほしい。
- ・私達が板書を写してると説明するのではなく、板書が終わったら説明の方が頭に入りやすいです
- ・眠くなくて楽しい授業にしてほしい
- ・例題の問題を増やしてほしい

→ 学び方やわかりやすさは、人により差があります。授業では多くの人が理解しやすいように学習方法や学習内容を準備しています。意見の中の授業のねらいとゴールや先生が話すタイミングなど、教員各自が授業の組み立てや生徒に伝えるためのテクニックなどの課題を持って取り組み、常にいい授業を行うにはと意識していきます。

○ 対応その他

- ・英語の授業では、わからないことを聞いても「自分で考えなさい」と言われるがなかなかわからない
- ・美術の授業を増やしてほしい
- ・美術の作品制作時間をもっと増やしてほしいと思います。
- ・技術や美術などの作業時間をもう少し伸ばしてほしい。
- ・作業をもっと丁寧にしたいから作業時間を増やしてほしいです。
- ・作業時間をもっと長くしてほしい
- ・わからないときに質問して丁寧に教えてくださりありがとうございます。
- ・もうちょっと気軽に質問などできたら嬉しい
- ・各教科で、質問に対する返答をもう少し丁寧にしてほしい
- ・授業についての質問をする際に先生に声をかけ質問をしても歩きながら対応されることがあります。しっかりお話を聞いてくれているかが心配になります。少し立ち止まって話を聞いてくれると嬉しいです。
- ・質問をできる時間はいつかを教えてください。
- ・日々充実した授業を受けられています。
- ・授業の最初に毎時間復習タイムを作ってほしい
- ・他の学年の先生の授業とかも受けてみたい。特に国語とか。
- ・静かすぎても頭に入ってこないから少しでも楽しさを入れてほしい
- ・小テストの日程や形式などをもう少し丁寧に説明してほしい
- ・授業中うるさいのをなんとかしてほしい
- ・ふざけてしまう人が出てきてしまっているので授業の進行スピードが遅いので改善してほしい

→ 授業時の生徒対応など改善につなげていきます。また、授業に集中できない雰囲気など無いようにしていきます。皆さんにお願いです。全員が中1の始めの頃は緊張もあってか、いい姿勢で意欲的に授業に取り組んでいたと記憶しています。当然、現在ではさらにレベルアップしている人も多くいます。しかし、できていたことをやらなくなってしまう、意識すればできることを意識しないなど、「できる・できない」ではなく「やるか・やらないか」を問われていると考えてください。その時の判断基準が感情的なものか、合理的なものか、一番よく知っているのは皆さん自身だと思います。わかって楽しい、できるようなって楽しい、完成して楽しいという体験をたくさんしていきましょう。